

夏休みの思い出

～サマーチャレンジ～



まちがどスナップ



7/28 ブーメランを作ろう
飛ばせよう (児玉公民館)



7/27 夏のおやつ作り教室
(仁手公民館)



8/3 絵画教室
(藤田公民館)



7/31 子ども卓球教室
(本庄東公民館)



8/7 子ども七宝漆教室
(本庄公民館)



8/6 ペンヒルキーフォトフレーム
作り教室 (北泉公民館)



8/4 子どもビーズアクセサリー教室 (共和公民館)



8/2 納豆のふたで壁掛け
アルバム作り (本庄南公民館)



7/24 親子で楽しむ理科教室
(中央公民館)



8/19 親子木工教室
(児玉中央公民館)



8/9 子ども籐細工教室
(本庄西公民館)



8/9 子ども紙粘土細工教室
(旭公民館)

市長コラム しんげの 一言メッセージ

各地の納涼祭に参加して

夕暮れ時にちょうちんが灯り、浴衣姿の老若男女がそぞろ歩くなか、やぐらの上の太鼓の響きが聞こえはじめる...、ふと幼いころを思い出す懐かしい光景...

8月中は市内各地域の納涼祭にお招きいただきました。人口の多い市街地の納涼大会もあれば、山あいの小さな集落の盆踊りまで、各地のバラエティーに富んだ夏のお祭りに参加させていただきました。

かつてはどの村どの町内でも行われていた納涼祭も、地域の結びつきの希薄化によって、一度はすたれた歴史があります。しかし最近、ふたたび共同体、コミュニティの意義を見直そうという動きが広がってきました。そして各地で納涼祭が復活また充実しはじめています。

15年ぶりにお祭りを復活させた地域。昨年から花火で子供たちを喜ばせている地域。保育園児の太鼓で盛り上がる地域。小さな山里でどうしてこんなに盛り上がるのか不思議なくらい賑わう地域。老人会が子ども会に踊りを教える地域など、内容も多種多彩です。

民踊団体の皆さんも各地で大活躍です。また若手の男性が積極的に盆踊りに参加する地域も増えてきました。とかく男性はシャイで参加したがる、そこで毎年順番で男の踊り手を決めて盛り上げる工夫をしたり、あるいは地元の青年団体が2週間も先生に習って当日やぐらの上で踊りまくる地域もあります。老若男女問わず踊りに参加する地域は盛り上がり方が違います。

このような納涼祭を企画・実施している自治会や各種団体の皆さんには頭が下がります。炎天下の中、準備や後片付けも大変です。こういった陰の力があってこそ住民の皆さんの笑顔、そしてふれあいの輪が広がり、それが地域社会を支え、安全・安心の本庄市を創る原動力になっていると感じます。関係者のご尽力に、市長として心から敬意と感謝を申し上げる次第です。

本庄市長 **吉田信解**

本庄市はバスケットボール競技 女子の実施会場です

インターハイ開催記念大会



『彩夏到来 08 埼玉総体』本庄市開催記念女子バスケットボール競技会（N・CAMP）が開催され、県内外の高校・大学・短大のチームが熱戦をくりひろげました。



8月3日、市役所1階市民ホールで「第16回サマーコンサート」が開催され、たくさんの人たちがさわやかな歌声を楽しみました。

真夏の清涼剤

野鳥の詩 うた

オオヨシキリ 〈全長約18cm〉

- 鳴き声 ギョギョッシ、ケチケチケチ
- 撮影地 仁手裏利根川河川敷



縄張り宣言と雌を呼び込むために朝から夕方まで大きな口を開けて叫び続けます。ひと呼んで「真夏のジャズシンガー」！縄張りとメスをゲットすると急に大人しくなり今度はカッコーとのバトルが始まります。カッコーの仲間は自ら子育てをせず、オオヨシキリやオナガの巣に卵を産み、子育てをさせます。（托卵といひます。）

野鳥の世界には不思議な現象がいっぱいありますね！

ここで一句 行行子 左右に揺れて 夏終わる 好太

文・写真 町田好一郎

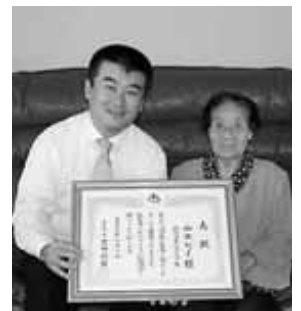
100歳おめでとう ございます



めでたく100歳を迎えられた牧西にお住まいの山本セイさん（明治40年8月3日生まれ）と児玉町入浅見にお住まいの加藤フサさん（明治40年8月15日生まれ）を吉田市長が訪問し、お祝いの「寿状」を手渡しました。



加藤 フサ さん



山本 セイ さん